

社会と教会  
生活と信仰  
平和・人権  
分かち合い

# 共に生きる

聖家族有志会報

No.31

編集 / 〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 / 瀬下幸弘 FAX093-622-1290

さつき  
皐月  
5  
2013

## 障がい者と一緒に 歩こう会 4月7日

ピンゴゲームの景品を提供くださり、有難うございました。雨天と強風のため、今年は中止しましたが、景品を聖小崎ホームの子ども達に届け、大変感謝されました。

## 北九州9条まつり

9条こそ子どもたちへの  
プレゼント

大声大会  
参加者募集



とき 5月3日(金)憲法記念日  
10時30分～12時30分  
ところ 勝山公園 芝生広場  
無料です。ご家族で参加を。



※雨天の場合は  
ムーブ5F 大セミナー室

## いま、憲法が危ない！

いま日本の状況はどうなっているでしょうか。「北朝鮮からミサイル攻撃があるかも知れない」と言って迎撃ミサイル配備などを行ない、マスコミは危機を煽るような報道がなされています。これこそ危険な道ではないでしょうか。三月三十一日付赤旗新聞で、池永大司教はこう述べています。：安倍首相は、「国防軍の創設」や「集団的自衛権の行使」を公然と繰り返しています。非常な危険であり、絶対に許してはなりません。容易ならぬ状況ですが、外見の強さに反して国民の支持は深いものではない。草の根で、広く声を上げていくことが大変重要です。…(6p新聞のコピー) 2面へ

日本カトリック司教協議会社会司教委員会は「いま、憲法が危ない！」として平和憲法を守り、活かしていくためのパンフレットを発行しました。(A6判12ページ) これは、政府が憲法96条を変えらることで、改憲のハードルを下げ軍備を持たないとした憲法9条や信教の自由と政教分離規定の憲法20条を変えようとしていることに危惧しているからです。この中で、2005年の教皇ヨハネ・パウロ二世の「悪に対して悪をもって報いる」という悪循環から抜け出す唯一の道」とメッセージを紹介し、軍備と武力行使によるのではなく、非暴力と対話によって平和を築く歩みの大切さを述べています。そして国際紛争を解決する手段としての戦争放棄と戦力の不保持を掲げた憲法9条の重要性を示しています。

改憲という重大な問題がさし迫っています。



## お知らせ

- ◆ 5月3日(日) 9条まつり(勝山公園)…10時30分  
憲法集会(ムーブ)13時～ 伊波洋一元宜野湾市長
- ◆ 5月5日(日) 平和の集い実行委員会(戸畑)…14時
- ◆ 5月11日(土) イチイチ祈りの会 修道院…13時30分
- ◆ 5月12日(日) 英語ミサと交流会(黒崎教会) …15時  
福岡教区信徒協(大名町) …14時
- ◆ 5月13日(月) 社会福音部会(アドラック) …19時
- ◆ 5月15日(水) ACO例会(下関労働教育センター) …9時30分
- ◆ 5月25日(土) キリスト者九条(西南KCC) …14時
- ◆ 5月26日(日) 虹の会(黒崎教会) ミサ後～  
北九州信徒協(小倉) …14時

## ときのことば

うばい合えば戦争、わけ合えば平和  
うばい合えば地獄、わけ合えば極楽  
生きていてよかった  
(相田みつお)

援助修道会 **修道院より**

## 5月11日:イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後1時30分から。  
どなたでもお出でください。

(1面続き)

池永大司教の言われる通りだと思えます。日本カトリック教会の立ち位置を今一度再確認する文書として「平和への決意一戦後五十年にあたって」(1995年)があります。その中で「日本の教会の一員としても、日本が第二次世界大戦中にもたらした悲劇について、…わたしたちはこの戦争にかかわったものとして、アジア・大平洋地域の二千万を越える人々の死に責任を持っています。」と反省し、「当時の民族主義の流れの中で…教会が、そこに隠されていた非人間的、非福音的な流れに気がつかず」適切な認識に欠けていたとしてこれからは「平和の働き人」となる道を歩み始めることを具体的に宣言しています。この立場を軸としてみれば、現在の安倍政権の流れは平和と逆方向に流れています。自民党の幹事長は「憲法96条改正は将来的な憲法9条改正を念頭に置いたもの」と露骨に語っています。

憲法9条が変えられようとする動きに私たちは手をこまねいているだけでよいのでしょうか。国防軍を持ち、核を持てる国にすることが果たして平和な国へとなるのでしょうか。96条「改正」が重大な問題をはらんでいることを学ぶことが不可欠と思えます。(編集子)

## 共に学びましょう

日本カトリック正義と平和協議会では「改憲反対」をテーマにした勉強会を行うキャンペーンを全国的に展開することになりました。

これに呼応して、北九州でもいま準備が進められています。

- と き／6月16日(日)14時～
- と ころ／カトリック小倉教会
- 講師を招いて学ぶ予定です。
- 主 催／憲法改正問題について考え祈るキリスト者の会(仮称)
- 5月中旬チラシを配布します。

## ケセン語訳聖書 やまうら はるつく 山浦玄嗣 訳

### イー・ピックス出版 お水くぐりの聖書

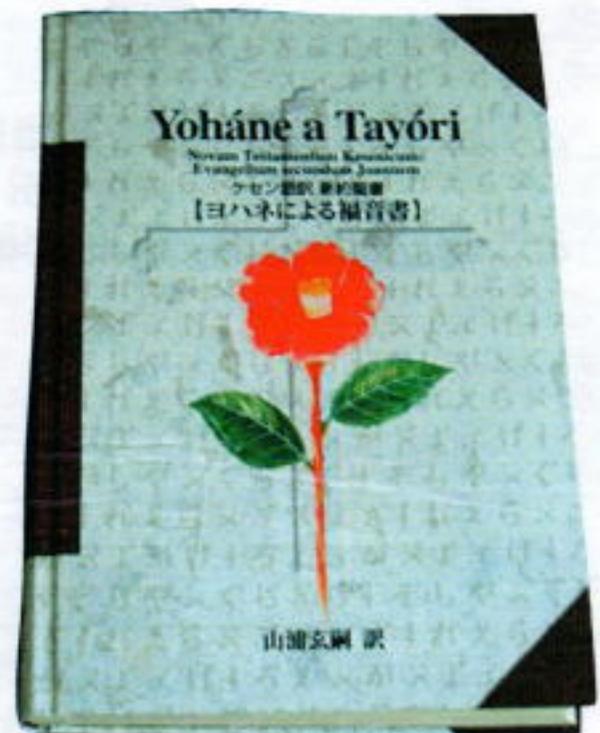
といえは思いあたるかと思えます。大船渡市で医師として働く傍ら、東北の方々に馴染みにくい標準語よりも聞いてそのままうけとれる言葉にとケセン語に翻訳されました。

ギリシャ語を研鑽して人々の心に訴える言葉で四福音書を2003年に発行されました。教皇さまに献上されたことなどもみな様ご存知のことと思えます。

さてこの度の2011年3月11日の大津波で四福音書は被害を受け、水に浸かり砂の中にうずまってしまいました。絶望的な中にイーピックス社の熊谷雅也さまが埋もれた聖書を発掘されたことは新聞などでもお読みになったことと思えます。私どもも一度拝見したいと思っていましたところ、修道院に寄贈いただきましたので、皆様にお知らせし致します。

砂の中から出てきた聖書なので、多少しみも入っておりますが、生き生きとした東北の方々のみ言葉への熱意とご苦勞がしみるようです。是非お立ち寄りくださいませ。またこの聖書のCDも添えられていますので、どうぞご利用くださいませ。希少価値のある立派な聖書で宝物です。ご一緒に考え拝読したいと思えます。

黒崎修道院より



# 岩手県・大船渡ベースと仙台教区外国人 支援センターでの8日間ボランティア体験

「寄り添う」

有吉 和子 (4)

〈11月20日〉すがすがしい朝の青空、肌を刺すような冷たい空気に心地よい緊張感を覚えます。今日は私とジュード神父様、そして2人の男性で仮設住宅を訪問します。まず、午前はベースから車で15分ほどいったところにある仮設住宅を訪問しました。仮設住宅までの道、いたるところに当時のまま手付かずの空き地や捻じ曲がったガードレールなど震災の爪あとが痛々しく残っていました。山間に立つ仮設住宅に着きました。集会所で囲碁と将棋などを通してメンズサロンと呼ばれるお年寄りの男性対象の方々との交流です。



仮設での生活では女性はお茶を飲みながらお話したり、手芸をしたりと外交的ですが、男性、特にお年寄り、震災によって、今後の生活に希望を持つことが出来ず、内向的になりがちだということです。時にはうつ病を発症する方も居られるそうです。その日私達はウノ(トランプに似たカードゲーム)をして4名の方と楽しいひと時を過ごしました。

自分の持ちカードを眺めながら、皆さん真剣です。笑いが絶えず、その雰囲気にかかれ、後から加わる方も出てきました。「一時的でも良い。皆さんの気分転換になってくれれば…」陽だまりの中にあるような、ホッコリした暖かな時間でした。

午後からは、身体的障がいを持った方対象、バ



リアフリーの仮設住宅でのたこ焼きパーティーです。ベースでたこ焼きの材料を準備して、それを持って行きます。定期的に訪問しているとの事で、仮設の皆さんは毎回楽しみにしているそうです。たこ焼きを一緒に作って食べます。食べながら震災当時の恐ろしかった体験を話してくれました。また大船渡の言葉(ケセン語)を教えてくださいました。発音が難しくてなかなかうまく出来ません。私の下手なケセン語が笑いを呼びました。皆さんの温かさが今も心に残っています。ジュード神父様の披露された手品もとても好評でした。「また会いましょう。また来て下さいね。」と手を握ってくれました。皆さんの明るい笑顔に元気をもらいました。

まだまだ復興には時間がかかることでしょう。その中であって、現実を受け入れ前向きに生きようとする姿。今日も希望の大切さを教えられた1日でした。(つづく)

## 分かち合のひととき

# 虹の会

3月24日 14名参加

聴くことは最善、最良の奉仕  
一人の存在を支え、魂の痛みを気遣うー

カリタスジャパン冊子「つなぐ」(TSUNAMI2013 福島とともに生きる)をもとに分かち合いました。参加された方其々の「聴く」ことの体験が分かち合われました。また、「神を聴く」事の大切さが話されました。

「虹の会(分かち合い)の良さは、一人ひとりの

思いを大切に聴いて、決して答えを出さないところですね。」という言葉に、心から共感しました。

次回は4月28日 ミサ後です。どなたでもご参加ください。

# 戦時下のくらしと憲法9条



石井 方子さん  
八幡東区在住 (5) 全6回

工場も農村も人手不足が深刻となり兵器、食料の生産確保の

ために私達13歳14歳の学生に動員令が出され、昭和19年2年生の秋、学業を全面的に放棄して小倉造兵廠へ動員となりました。陸軍直轄の兵器工場です。「学徒」の腕章をつけ鉢巻をして軍歌や動員学徒の歌を歌って軍隊式に行進して出勤する日々となりました。夏休みも冬休みも修学旅行も運動会も 期末試験ありません。学生生活は全く奪われました。お正月も一日だけお休みでした。日曜はほとんどなかったのではないかと思います。2年生の間は10時間労働でした。3年生になると12時間になります。

昭和20年に入ると米軍は空襲を軍需工場が目的から、人を無差別に殺傷し、戦意をくじくことに目標を置くようになりました。インパール作戦の失敗、サイパン島玉砕、グアム島の玉砕などを経て空襲は南方の基地を拠点として激しさを増しました。19年末には特攻攻撃も始まりとり憑かれたように本土決戦が叫ばれるようになりました。勝つ勝つ、神風が吹く、と狂信的なことが言われました。追い詰められている戦局は私達にも分かりました。南方の戦線に行くことがもう帰ってこれないということをみんなわかっていました。どこでも要塞地帯で、汽車

の窓はスパイにみられないように遮蔽されました。写真を撮ることも禁じられました。写真を撮ってるのが見つかるかと捕まるので、私の女学校時代の写真は戦後しばらくたつまでありません。本土決戦に備えて造兵廠を山奥に移し地下工場にすることになり、私たちはそれに伴って20年5月、大分県日田へ転属されることとなりました。母は持っていく布団をお手伝いさんと黙々と縫いました。私が日田へ行くことを母は容認してる気がして複雑な思いでそれを黙って眺めました。結核にでもかからない限りそれはどうしようもない事でした。

日田に行くときは、小学校の先生が送りに来てくださいました。私たちは座席のない貨車に乗せられて行きました。とても寂しかったです。八幡は空襲にさらされていました。生きてはもう父母に会えないのではと思いました。日田は接収した民家が私たちの寮で、山を砕くハツパの音が一日中響いていました。最初は空襲かとおびえました。食事は劣悪で、朝早くから夜まで何の娯楽もない働くだけの毎日。いつ終わるかもしれない戦争、希望も、夢も持てない、つらい日々でした。近所の人はよそものの私たちに優しくありませんでした。帰りたくて「線路を伝っていけば帰れる。逃げようか」と。できないことわかってるのに友達と話したりしま



軍服を縫う女学生

大月書店「子どもたちの昭和史86p」より

した。毎日通う山道に丸太で作った粗末な小屋が何軒かあって、そこに裸に近い男の人が大勢いて、通るとカンテラの嫌な臭いがしました。今思うと朝鮮から連れてこられた人たちだと思います。

一泊だけ帰ることが許され、何班かに分けて実施されました。私は真っ先に帰る班を選びました。その時、本土決戦に備えて、自殺の薬を何人かに頼まれました。私は帰って自宅の薬局を親に黙って探したけど自殺できるような薬はありませんでした。八幡が空襲で焼けたとき、両親兄弟の安否を何日も確認することができなくて、泣いて過ごしました。もし北九州に原爆が落とされてたら、その後私はどう生きることになったでしょう。本土決戦は不可避のようだから死ななければならぬと思っていました。でも死ぬなら親姉妹と一緒に死にたいと思いました。

先生が小倉から慰問に来ました。その時手紙を書いたら持って帰ってくださるというので手紙を書きました。手紙は投函すると検閲されてなかなかほんとのことが書けないので、喜んで先生に託しました。その夜先生に呼びつけられました。先生が手紙を検閲したのです。私が女々しいことを書き連ねているという詰問でした。先生だから安心して信頼して書いたのに、許せないと思いました。心外でした。今でも思い出すと、心が波立ちます。私は全く先生を無視して返事もせず、席をけて出ました。先生もまさに憲兵でした。(続く)



前へ進め 歩調を取れ！  
右向け 右

憲法9条 無視！  
戦力不保持 無視！

迎撃ミサイル  
「準備完了」  
ミサイル追跡システム  
「スイッチ オン」

まさか  
だまって  
おねなくなつて

### ツイッター

読者のSさんが「被団協」の新聞を持ってきました。日本原水爆被害者団体協議会が発行する新聞です。この新聞の4コママンガを書いているのが西山すすむさんで、Sさんとは懇意の仲だそうです。「共に生きる」紙に西山さんの諷詩が掲載されたため「あいつ、元気やったか」とSさん安堵。

### 歩こう会でいただいた景品の一部です



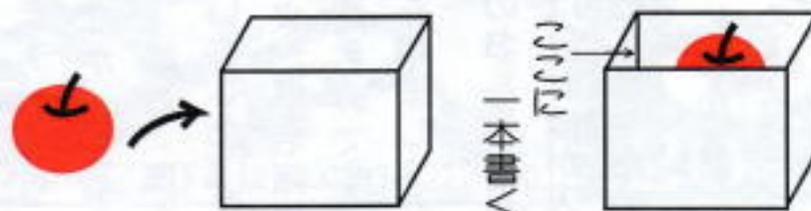
ご提供有難うございました。

### と一緒に聖書を読んで祈りませんか

とき：決まり次第お知らせ致します。  
ところ：黒崎修道院を予定しています。  
☎：621-5670 シスター塩路

### 前回の“頭の体操”の答え (R)

箱の中に入りんごを入りたいのですが、箱は閉まっています。図に棒を一本書き加えて、箱を開けて下さい。解けましたか？



### 真実と虚偽“4月28日”を思う(和)

この日を「主権回復の日」とし式典がすすめられています。沖縄県民は「屈辱の日」と記憶されています。1952年発行のサンフランシスコ条約で小笠原や奄美、沖縄が日本から切り離された日だからです。北海道民にとっても千島列島を放棄させられた日でもあるのです。この条約のすぐあとに日米安保条約に吉田茂が署名し、平和憲法と矛盾した状態が今現在も続いているのです。何が真実で何が虚なのか見極めねばと思います。

### おめでとう“卒寿” (みな)

4月20日卒寿を迎えた母です。思慮深く控えめで忍耐強い母です。子ども4人、孫11人、ひ孫13人。いつも私たちを温かく見守り支えてくれています。仏教徒の母ですが、私にはマリア様のようなです。



歩くときは杖を使いますが他は元気です。野菜を作ったり絵を書いたり文字を書くのが好きで、字が段々上手になっていくとうれしそうに話します。「おめでとう。次は白寿のお祝いをしましょう」とみんなで乾杯しました。



### 難民移住移動者委員会セミナー 報告

## 希望を決して失わない“パガサ・イワテ”

～ 震災から2年、復興の3年目～

3月10日14時より大名町教会で、難民移住移動者委員会セミナーが開催され、日本人、外国人合わせて100人程が集い、黒崎教会からも30人近くが参加しました。

被災地で外国人司牧のために働くハルノコー神父様と現地フィリピン人リーダー菅原マリフェさんの講演がありました。話を聴いて、中には涙する方の姿も見られました。その後、宮原司教様司式の英語ミサで締めくくられました。黒崎教会から参加された方から、「日本に嫁いだ外国人が震災で大変な思いをしていることがよくわかりました。メディアからは届かないだけに、参加してよかったです。」



「震災をきっかけに、被災地では外国人と日本人の壁が取り除かれた話を聴いて、つながる素晴らしさを感じました。」「ミサに参加している外国人がとても楽しそうでした。壁を作っているのは自分自身だという気づきがありました。」また、参加した子供たちからも「楽しかった。」などの感想が寄せられました。

# 福島の子ども達は今

援助修道会 高木百世

今年2月、福島県は子ども達の甲状腺検査の結果、3人目のがん患者が見つかったと公表しました。2011年、3万8114名の子どもを検査し、その中から1人がんの子どもが出たことを昨年9月に発表し、その後二次検査が必要とされた186人の再検査を行い、今回の3人目が出たということです。通常子どもの甲状腺がんは100万人に1人といわれるのですが、今回は3万8114人の中から3人ということになります。がんと診断されなくても昨年9月の発表では、しこり、のう胞、などを認められた子どもは、被検者の約40%もいたそうです。甲状腺だけではなく、放射線量の高い地域では、子ども達の多くから鼻血、頭痛、咽頭痛、下痢、嘔吐等、内部被曝の初期症状といわれる症状が多発しています。

こんななか、子ども達や家族の人達はどんな気持ちでいるのでしょうか。最近「ほうしゃせん、きらきら、きらいだよ」という本に出会いました。この本は「さよなら原発1000万人署名」のもどつて来た署名用紙に添えて、紙切れに書かれた訴えをまとめて本にしたものです。この中からひとつ、4才と5才の子どもの言葉を紹介します。

”公園のお水は飲んじゃいけないんだよ！”  
 ”雨には放射能が入っているからぬれちゃだめなんだよ！”  
 ”牛乳飲んじゃだめなんだよ、放射能こわいでしょ！”

放射能におかされないために、避難や疎開が良いとわかっているけど、いろいろな事情で出来ない人が大勢います。放射能におかされやすい細胞分裂が盛んな子ども達のために、少なくとも、短

## 池永大司教、改憲問題を語る

3月31日 赤旗新聞

### 日本国憲法 私の思い

#### 人間性の回復かけ 改憲に立ち向かう



池永 潤さん  
 カトリック大阪大司教

池永大司教は、3月27日、神戸市にあるカトリック大阪大司教区で、記者会見を開き、憲法改正問題について語った。池永大司教は、憲法改正が、人権や自由を脅かす恐れがあるとして、慎重な議論が必要だと述べた。また、憲法改正が、日本の国際的な立場を弱くする恐れがあるとして、慎重な議論が必要だと述べた。

池永大司教は、憲法改正が、人権や自由を脅かす恐れがあるとして、慎重な議論が必要だと述べた。また、憲法改正が、日本の国際的な立場を弱くする恐れがあるとして、慎重な議論が必要だと述べた。

### 編集後記

あらためて自民党「憲法改正草案」を読みました。部分的に変更したものもあれば、大きく条文が変更されているものもあります。その中で実質全てを変更しているもの、それは憲法前文です。前文には、どのような考えでこの憲法ができているかが記されています。主権が国民にあること。議会制民主主義。そして国際平和主義の3つが中心です。草案には「天皇を戴く国家」「和を尊び」「美しい国土」「活力ある経済活動」などの文言が。しかしどんなに修文しても現憲法前文にはかないません。ゆっくり読んでほしいと思います。(瀬下)